

2022年度第2四半期決算 補足資料

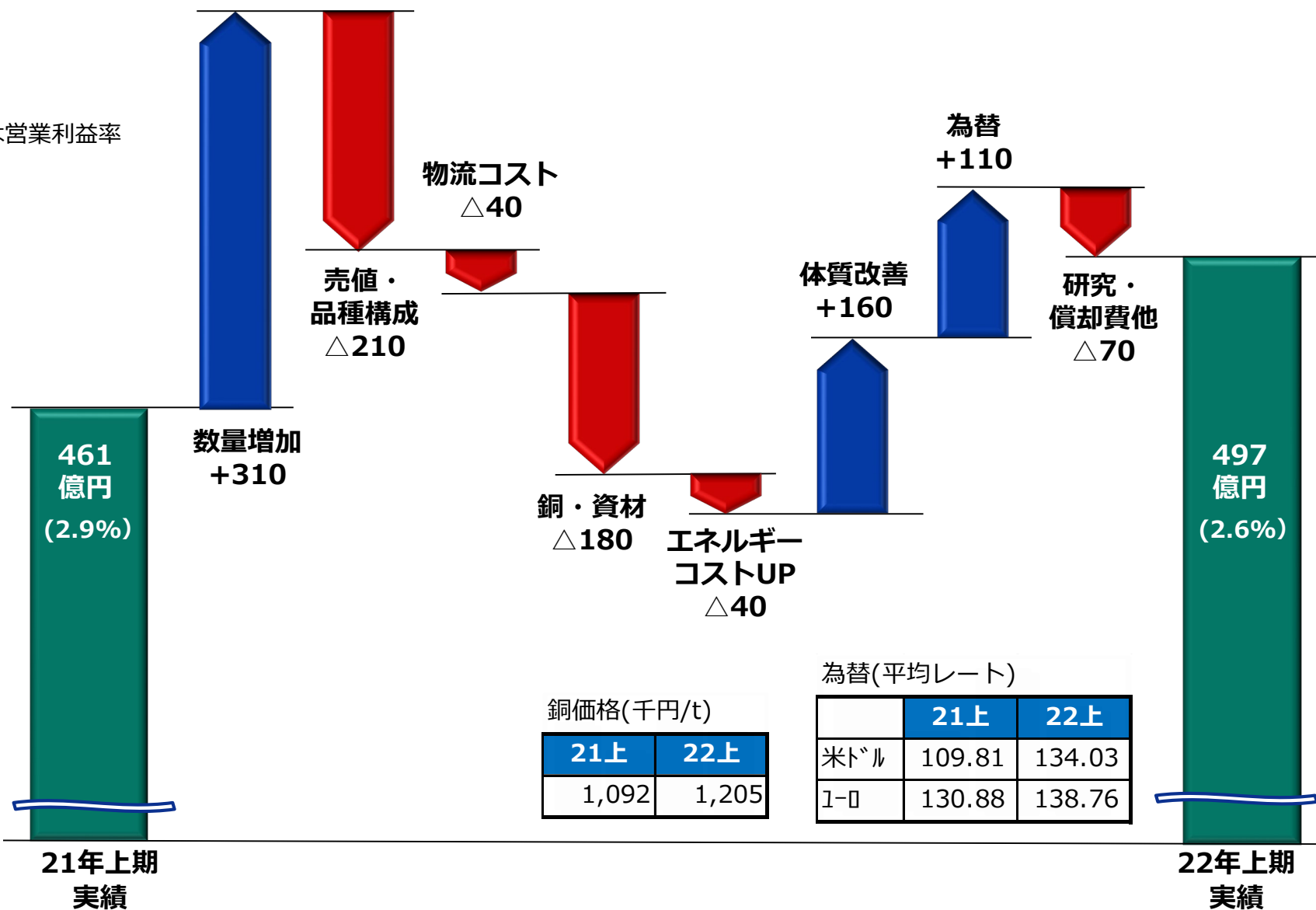
住友電気工業株式会社
2022年11月2日

1-1. 連結業績（損益計算書）

億円	2021年度 上期 実績①	2022年度 上期 年初公表②	2022年度 上期 実績③	前年同期比 ③-①	年初公表比 ③-②
売上高	15,704	18,000	18,911	+3,207	+911
営業利益	461	450	497	+36	+47
持分法投資利益	135		99	△36	
その他営業外損益	6		12	+6	
経常利益	603	500	609	+6	+109
特別損益	△14		54	+68	
税前四半期純利益	589		663	+74	
税・非支配株主に帰属する 四半期純利益	△265		△312	△47	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	324	320	351	+27	+31

1-2. 営業利益の増減益要因（前年同期比）

(%)は営業利益率



1-3. セグメント別売上高・営業利益

億円	2021年度 上期 実績①		2022年度 上期 年初公表②		2022年度 上期 実績③		前年同期比 ③-①		年初公表比 ③-②	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
自動車	8,164	△ 10	9,800	0	10,167	△ 80	+2,003	△ 70	+367	△ 80
情報通信	1,148	103	1,200	100	1,213	129	+65	+26	+13	+29
エレクトロニクス	1,404	80	1,600	120	1,782	177	+378	+97	+182	+57
環境エネルギー	3,774	186	4,200	110	4,350	126	+575	△ 60	+150	+16
産業素材他	1,597	105	1,700	120	1,852	150	+254	+45	+152	+30
合計	15,704	461	18,000	450	18,911	497	+3,207	+36	+911	+47

※ 各セグメントを足し合わせた数値と、合計欄の金額の差は連結消去

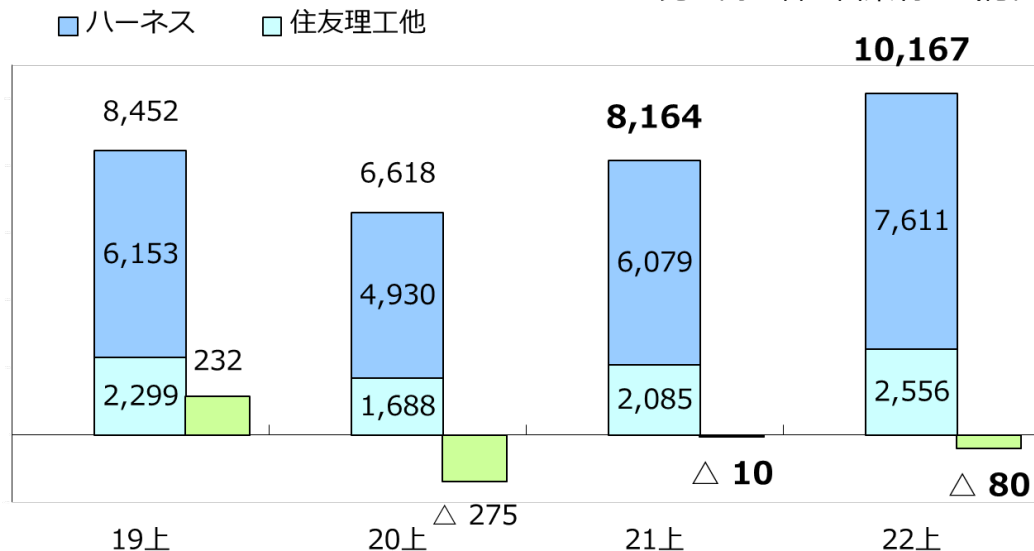
1-4. セグメント別増減益要因・業績推移

【自動車】

22上期営業利益 $\Delta 80$ 億円
(前年同期比 $\Delta 70$ 億円)

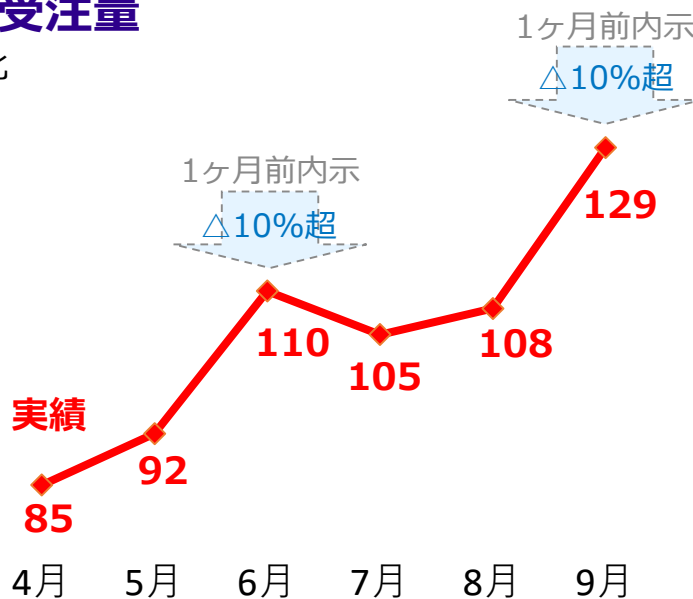
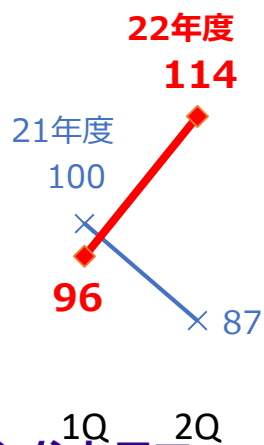
- (+) ハーネス、住友理工の出荷数量増加
- (-) 資材価格・物流費の高騰
- (-) 顧客の急な減産による生産性低下

左：売上高 右：営業利益（億円）



ワイヤーハーネス受注量

21/1Qを100として指数化



受注量は回復基調であるが、
内示からの下振れは継続

資材価格・物流費の高騰は、
引き続き顧客との交渉に注力

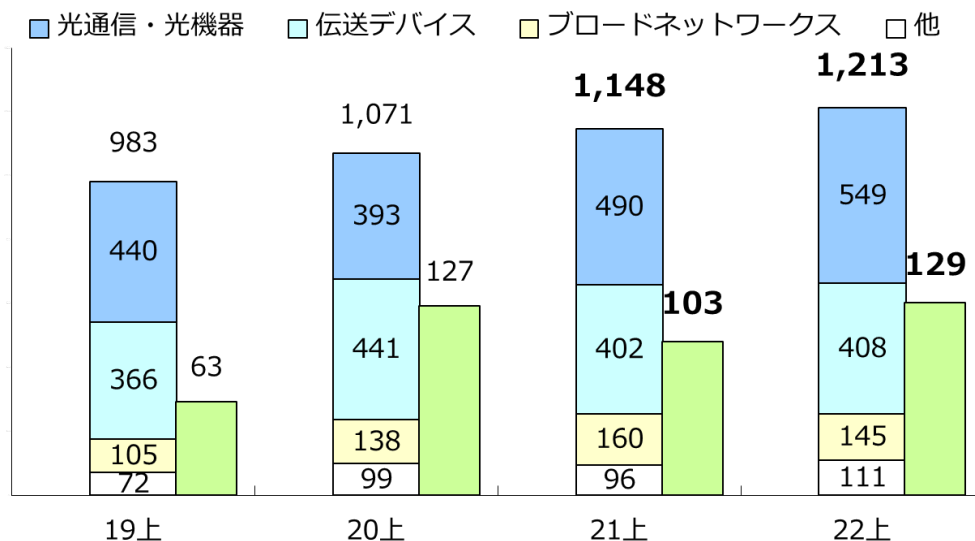
1-4. セグメント別増減益要因・業績推移

左：売上高 右：営業利益（億円）

【情報通信】

22上期営業利益 129億円
（前年同期比 +26億円）

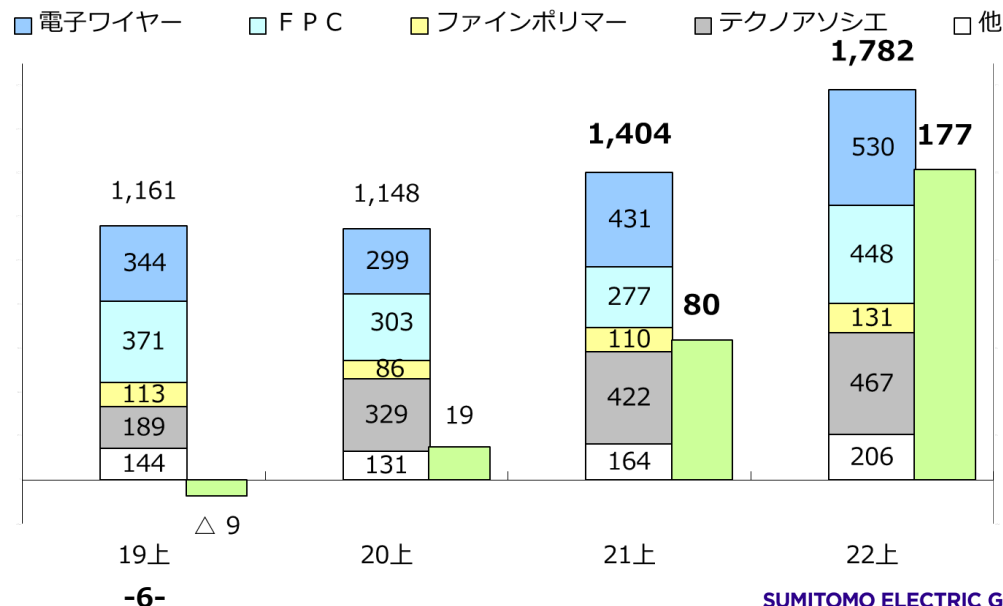
- (+) データセンター向け製品が増加
- (+) 光ファイバの価格回復
- (+) 為替影響
- (-) エネルギー価格上昇



【エレクトロニクス】

22上期営業利益 177億円
（前年同期比 +97億円）

- (+) FPC、電子ワイヤーの需要捕捉
- (+) 生産性改善
- (+) 為替影響



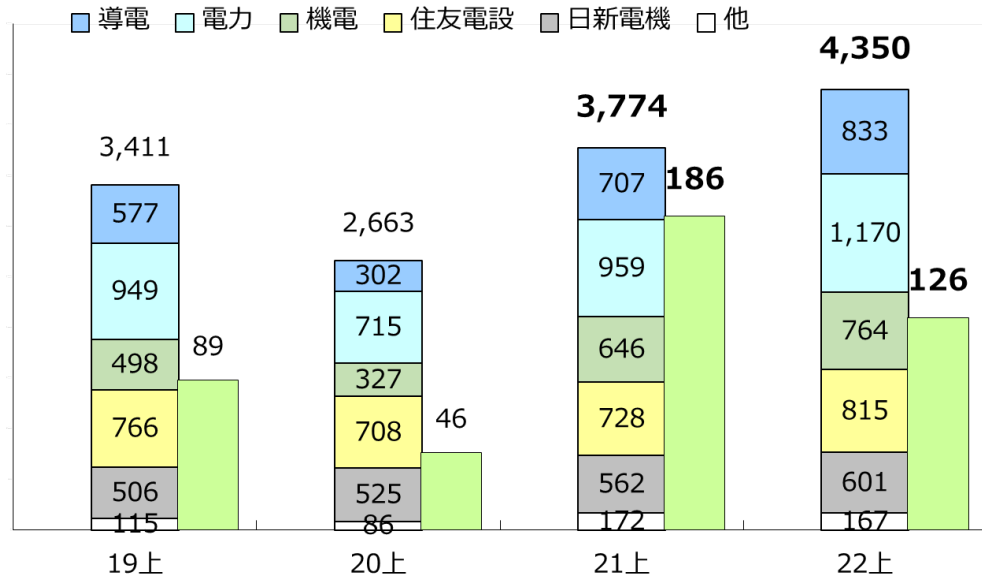
1-4. セグメント別増減益要因・業績推移

【環境エネルギー】

22上期営業利益 126億円
(前年同期比 △60億円)

- (+) 電力ケーブル外需案件増加
- (+) 電動車モーター用平角巻線が増加
- (+) 銅価格影響：売上高+197億円
- (-) 営業利益△41億円
- (-) エネルギー価格上昇

左：売上高 右：営業利益（億円）

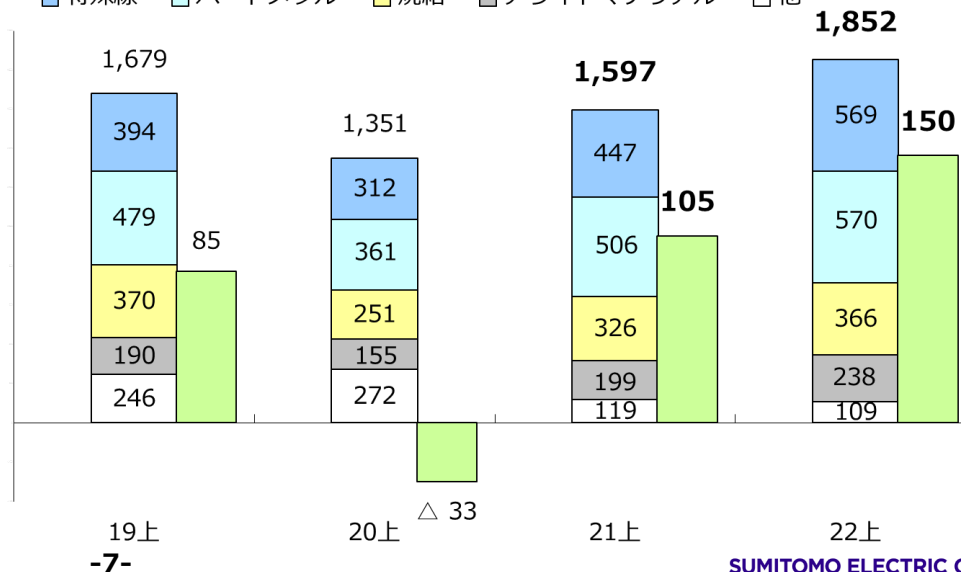


【産業素材】

22上期営業利益 150億円
(前年同期比 +45億円)

- (+) 超硬工具の受注が好調
- (+) 為替影響
- (-) エネルギー価格上昇

■ 特殊線 ■ ハードメタル ■ 焼結 ■ アライドマテリアル ■ 他



1-5. 連結貸借対照表

億円	2022年 3月末①	2022年 9月末②	前期末比 ②-①	億円	2022年 3月末①	2022年 9月末②	前期末比 ②-①
現金及び預金	2,596	2,804	+208	営業債務	4,450	4,619	+169
営業債権	8,147	8,238	+91	有利子負債	8,598	9,263	+665
棚卸資産	8,448	9,353	+905	その他	4,497	4,682	+185
有形固定資産	10,268	10,836	+568	負債合計	17,545	18,563	+1,019
投資有価証券	4,439	4,739	+300	資本金、資本剰余金	2,703	2,702	△1
その他	4,176	4,174	△2	利益剰余金	13,462	13,623	+161
				その他	4,365	5,256	+892
				純資産合計	20,529	21,581	+1,052
資産合計	38,074	40,144	+2,070	負債・純資産合計	38,074	40,144	+2,070

1-6. 連結キャッシュ・フロー

	2021年度 上期実績①	2022年度 上期実績②	前年同期比 ②-①
税 前 当 期 純 利 益	589	663	+74
減 価 償 却 費	882	976	+94
運 転 資 産 の 増 減	△755	△ 28	+727
その他営業キャッシュ・フロー	△241	△ 366	△125
営業キャッシュ・フロー	475	1,245	+770
投資キャッシュ・フロー	△888	△ 928	△40
フリーキャッシュ・フロー	△413	317	+730
財務キャッシュ・フロー	89	△ 199	△288
そ の 他	8	91	+83
現金同等物の増減	△316	209	+526
現金及び現金同等物の期末残高	2,198	2,765	+567

2-1. 連結業績予想（損益計算書）

	2021年度 実績①	2022年度 年初公表②	2022年度 今回見直し③	前期比 ③ - ①	年初公表比 ③ - ②
売上高	33,679	38,500	40,000	+6,321	+1,500
営業利益	1,222	1,600	1,600	+378	0
経常利益	1,382	1,650	1,630	+248	△20
親会社株主に帰属する 当期純利益	963	1,000	1,000	+37	0
配当（円/株）	50	50	50	0	0
			(下期前提)		
米ドル	112円	120円	130円		
ユーロ	131円	135円	135円		
銅建値	1,136千円	1,100千円	1,100千円		

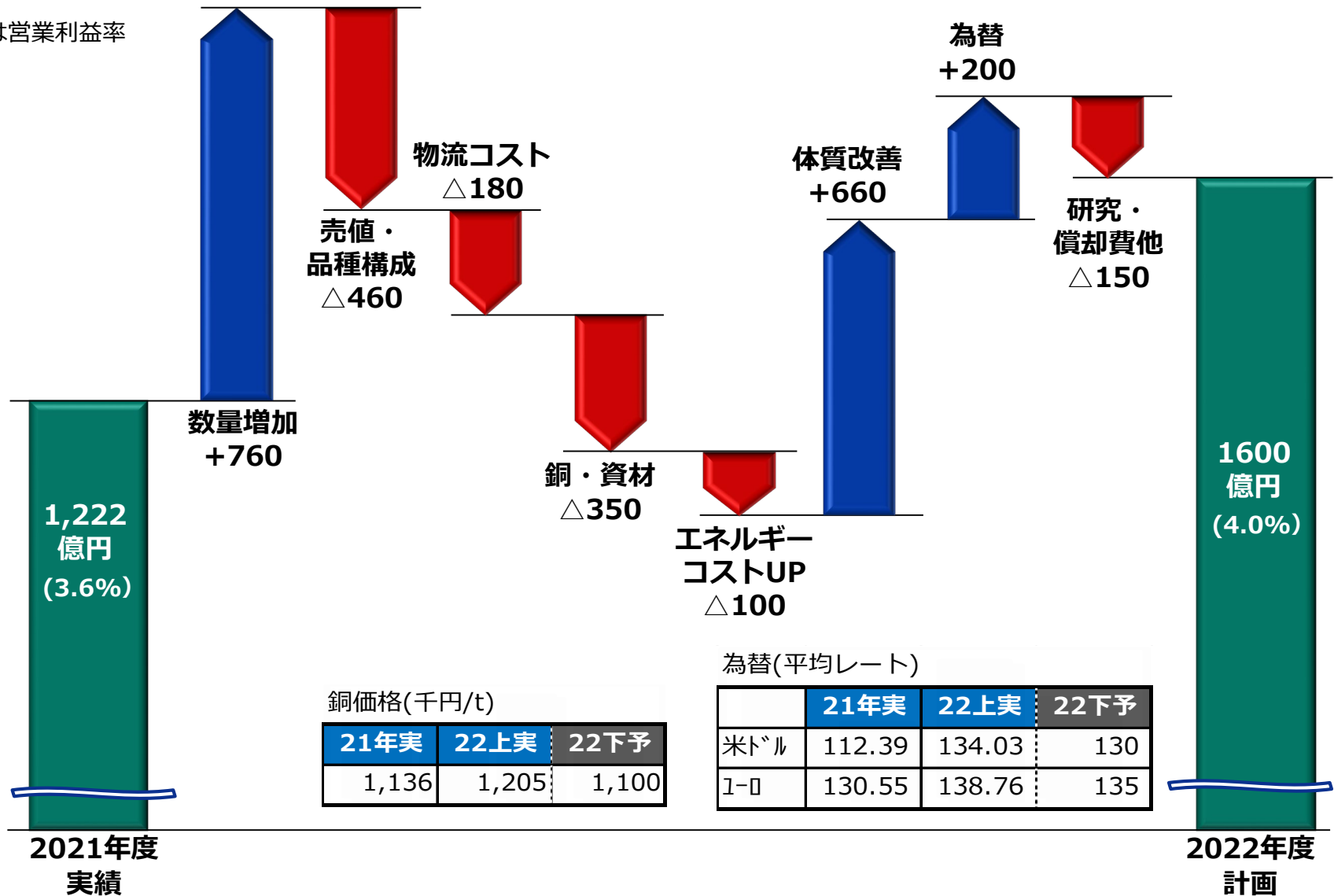
2-2. セグメント別売上高・営業利益（前期比）

億円	2021年度 実績①		2022年度 年初公表②		2022年度 今回見直し③		前期比 ③-①		年初公表比 ③-②	
	売上高	営業 利益	売上高	営業 利益	売上高	営業 利益	売上高	営業 利益	売上高	営業 利益
自動車	17,542	123	21,000	460	21,700	390	+4,158	+267	+700	△70
情報通信	2,392	234	2,600	260	2,600	260	+209	+26	0	0
エレクトロニクス	2,925	198	3,200	200	3,500	270	+575	+72	+300	+70
環境エネルギー	8,334	440	9,200	390	9,500	390	+1,166	△50	+300	0
産業素材他	3,279	230	3,600	290	3,800	290	+521	+60	+200	0
合計	33,679	1,222	38,500	1,600	40,000	1,600	+6,321	+378	+1,500	0

※ 各セグメントを足し合わせた数値と、合計欄の金額の差はセグメント間消去

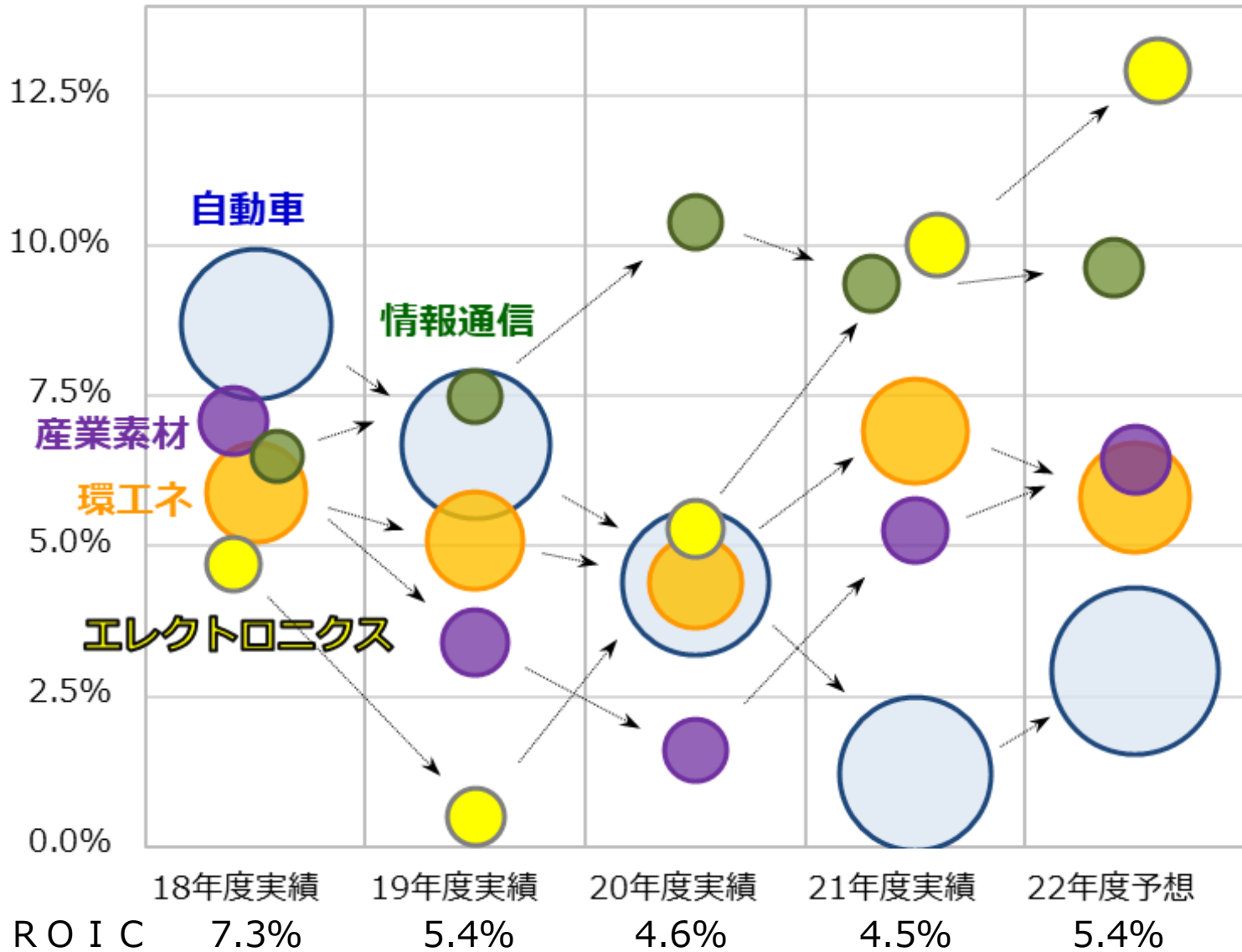
2-3. 営業利益の増減益要因（前期比）

(%)は営業利益率



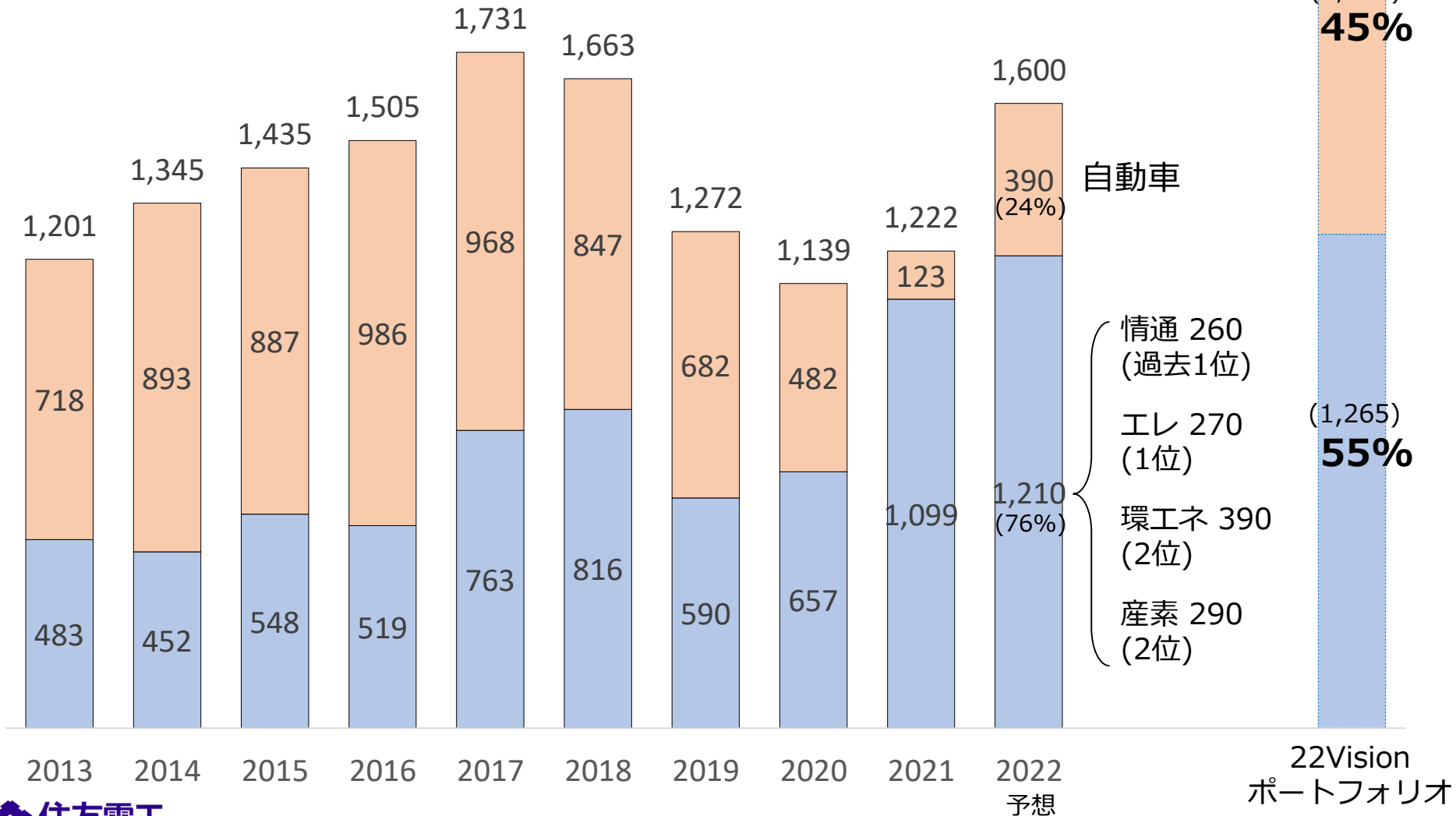
2-4. セグメント別ROIC

※図の面積は売上高に比例

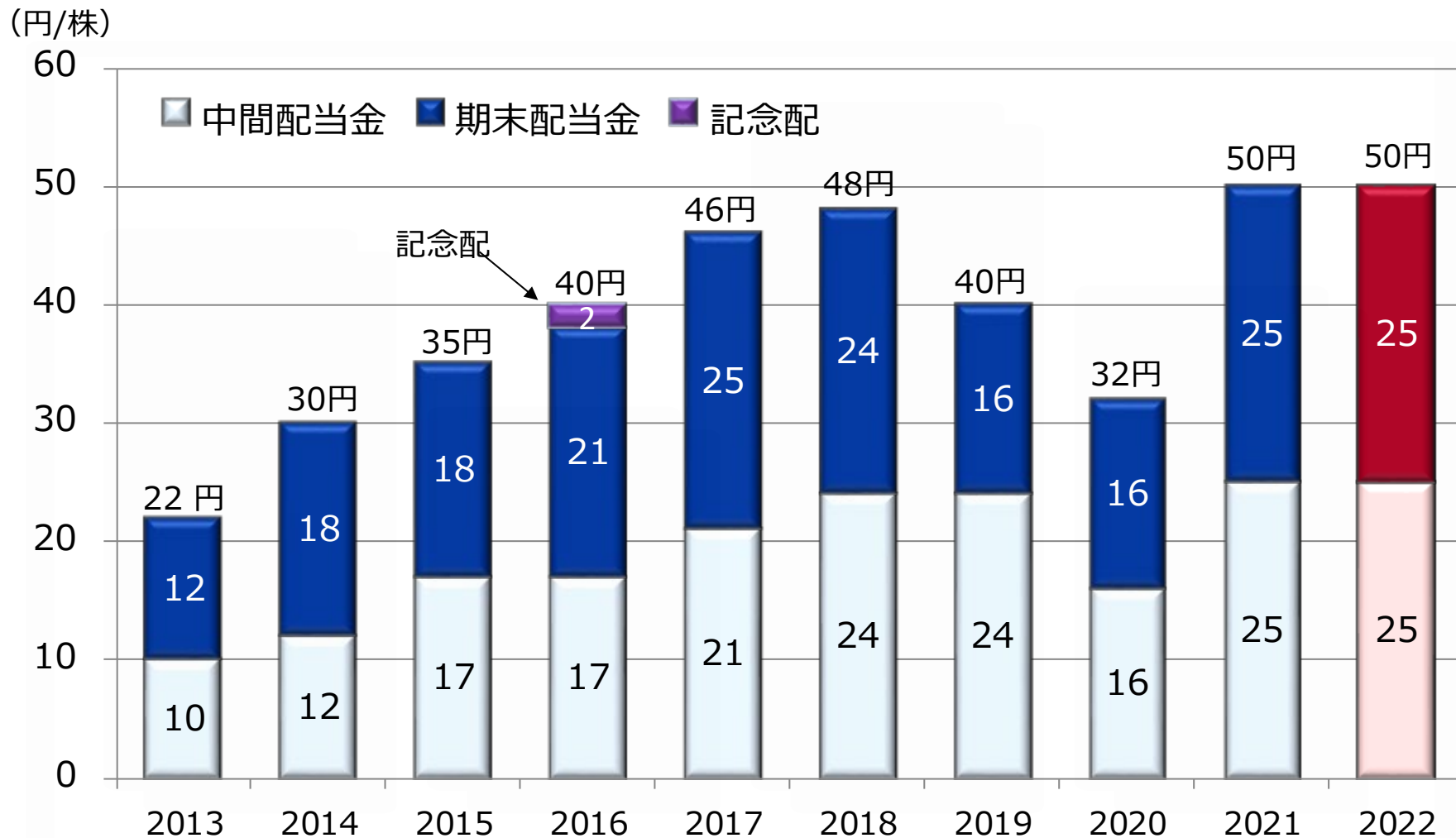


3. 営業利益推移

(億円/年)



4. 配当



1株当り利益(円)	84.15	151.00	114.73	137.61	154.29	151.38	93.24	72.25	123.49	128.22
配当性向	26.1%	19.9%	30.5%	29.1%	29.8%	31.7%	42.9%	44.3%	40.5%	39.0%

(参考) 上期実績推移

折れ線:売上高 縦棒:営業利益 (単位:億円)

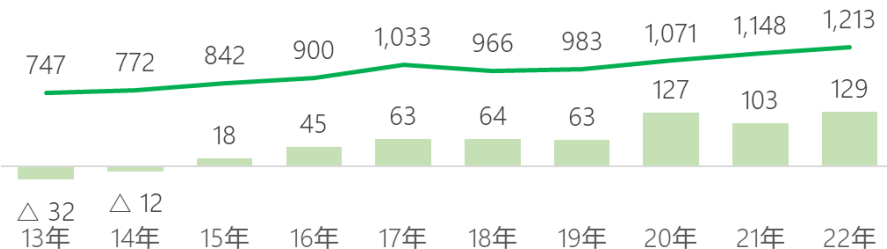
全社計



自動車



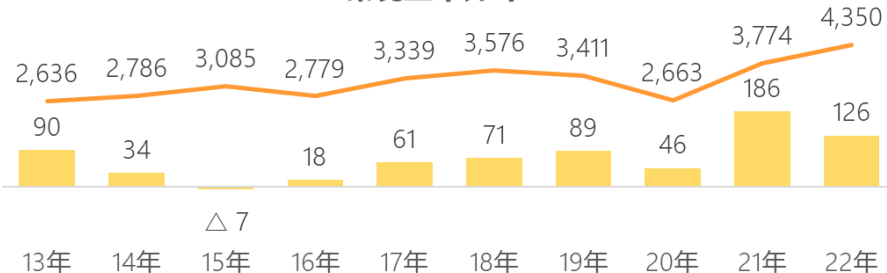
情報通信



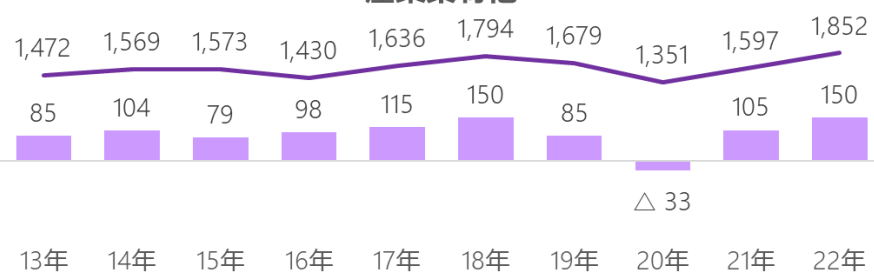
エレクトロニクス



環境エネルギー



産業素材他



情報通信、エレクトロニクス、産業素材他が直近10年間で過去最高益

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・ 米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・ 急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・ 財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・ 諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・ 当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。



Connect with Innovation

<https://sumitomelectric.com/jp/>